

## 第103回総合計画審議会（H23. 9. 13）における主な意見

No	区分	委員 意見	備考
1	計画期間	計画期間について、緊急のものは2年ということでもいいと思うが、中長期的なものは知事の任期と合わせて3年とすべきではないか。また、1年終わったところで状況が変化した場合、ローリングしていくのか。	
2	目標・評価	計画期間は2年程度ということであるが、そのサイクルは、これまでの政策マネジメント・サイクルと同様に回していくのか。また、次期「実施計画」の策定について、どの段階でどういう評価をして、どの段階で判断していくのか。	
3	目標・評価	プロジェクトの数値目標の設定について、どの様に考えているのか。	
4	目標・評価	数値目標で評価すると、多くの統計は早くても1年後で、3～4年後に出てくる統計もある。そうした統計で数値目標を作ると、評価する前に2年が終わってしまってしまうため、数値目標以外の評価手法も考える必要がある。	
5	財政運営	3.11以降、エネルギー政策や大規模災害への対策という形で打ち出していかなければならないが、プラスαでやるとした場合は財源的な裏付けも非常に重要である。	
6	災害対策	神奈川県が被災地の復興をどのように支援していくのかについて、今回の計画に入れるべきである。	
7	災害対策	自然災害への対応だけでなく、原子力災害対策の強化という観点を、特出しして入れるべきである。	
8	災害対策	大地震が起きたときに、東京湾の石油コンビナート等、二次災害も考えられる。3.11を受けて「基本構想」を見直すのであれば、防災、減災、自然災害は特筆すべきである。	
9	災害対策	災害に強いまちづくりには、ソフトとハードのマッチングが非常に大切であるので、本当の意味での安全・安心を提供するため、検討していただきたい。	
10	災害対策	3.11において、本来、防災・減災等に用いるものではないものであっても、災害時に有効に活用した事例があったので、そういった視点での点検も必要ではないか。	
11	災害対策	今回の震災を教訓とした情報を流すことにより、より一層、県民の関心が高まるので、そういうことも忘れずに取り組むべきである。	
12	災害対策	災害時の米軍との協力体制について、いざというときに国のジャッジを待たずに早く動ける関係を県で構築できないか。	
13	災害対策	交流・連携をキーワードに、近隣の県や自衛隊、米軍などと連携する中でリスクを分散させることも必要である。	
14	災害対策	テロ対策や、自然災害以外の災害への備えについても是非検討していただきたい。	
15	災害対策	官民協働プロジェクトが見えづらい。災害時には、民間企業との協力が不可欠であるため、その辺を踏まえた計画としていただきたい。	
16	災害対策	災害が発生する前から、災害時に官が出来ること出来ないことを整理し、NPOやNGOグループを早期に組織化して、被災者支援ができる体制を作っておく必要がある。	

## 第103回総合計画審議会（H23.9.13）における主な意見

No	区分	委員 意見	備考
17	エネルギー政策	エネルギー対策、ソーラー発電は、県内の大学、研究機関など、色々な科学技術のポテンシャルを最大限有効に活用して進めていくしくみづくりが必要である。	
18	エネルギー政策	エネルギー対策ではソーラーエネルギーばかりに集中しているような印象があるが、長期的なエネルギーの多様化という視点や、小規模の分散型のシステムを含めた地域社会のあり方等、もっと幅広くエネルギー供給のあり方をしっかり考えなければいけない。	
19	エネルギー政策	ソーラー発電ができる家から、電気を近隣へ供給できるしくみがあれば、停電のときに非常に役立つので、そういったシステムづくりを神奈川県として考えていくべきである。	
20	農業	林業、漁業、農業は、県民生活を支える重要な要素であり、単なる産業として捉えるのではなく、別な章立てがあってもいいのではないか。	
21	農業	医食農同源や地産地消の前に、総合計画の中に、神奈川の農業をどう育てていくかという視点を入れるべきである。	
22	その他	総合計画の策定に当たっては、全てに目を配るということが重要であり、想定外ということがあってはいけない。その上で、どこに重点を置くかということを考えなければいけない。	
23	その他	食の安全について、個人で判断して個人で実行していくようにというのは、一見正しいように見えるが、一方で無責任な感じでもある。神奈川県として、県民に対して明確なメッセージや指針を打ち出すべきである。	
24	その他	3.11を踏まえ、計画の中で、「分かちあい、助け合い、共に生きる」という基本的な価値観をしっかりとベースとして共有化しながら、色々な施策をつくっていくことが大事である。	
25	その他	神奈川県はマグネット力で国際的にも人を引き付ける、国際的に活躍していく人を育てるといった、国際性という視点を入れていただきたい。	
26	その他	3.11で、地域経済にとって中小企業がどれだけ大切かということが分かった。単に「活力創出のための中小企業支援」というよりも、災害復興、災害復旧にあたり、例えば中小企業同士の横の連携など、中小企業をどうやってサポートしていくのかという視点を入れるべき。	
27	その他	神奈川県は長寿でますます元気というところをアピールするため、シニアスポーツの先進県といったヴィジョンを持ってやっていくことを、是非検討して欲しい。	
28	その他	雇用や働ける場所の確保といった課題にもしっかりと注目した計画とすべきである。	
29	その他	マグネットとしてひきつける県になるため、素晴らしいところが沢山あるということを是非発信していくような政策にも力を入れていただきたい。	
30	その他	「守る」というキーワード例に、「健康を守る」というのが入るべきである。	